第　３２　期

計　　算　　書　　類

２０１９年　４月　１日から
２０２０年　３月３１日まで

株式会社エィ･ダブリュ･メンテナンス
愛知県安城市東端町西大坪８０番地１

貸　借　対　照　表

（2020年3月31日現在）

（単位：千円）

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
流動資産	**7,315,485**	**流動負債**	**1,355,456**
現金及び預金	20,259	買掛金	890,769
預け金	5,600,004	未払金	5,923
売掛金	1,192,101	未払費用	47,494
原材料	4,462	その他	411,268
仕掛品	406,340		
貯蔵品	1,694	**固定負債**	**702,529**
未収入金	89,428	退職給付引当金	256,096
その他	1,194	繰延税金負債	443,559
		その他	2,873
固定資産	**239,081**	**負債計**	**2,057,985**
有形固定資産	**193,963**	〔純資産の部〕	
建物	12,779	**株主資本**	**5,496,311**
機械装置	105,604	**資本金**	**90,000**
車輌運搬具	0	**資本剰余金**	**80,000**
工具器具備品	38,579	資本準備金	80,000
土地	37,000	**利益剰余金**	**5,326,311**
無形固定資産	**36,706**	利益準備金	2,500
電話加入権	217	その他利益剰余金	5,323,811
ソフトウェア	36,488	別途積立金	190,000
投資その他の資産	**8,411**	繰越利益剰余金	5,133,811
投資有価証券	773	**評価・換算差額等**	**269**
その他	7,638	その他有価証券評価差額金	**269**
		純資産計	**5,496,581**
合計	**7,554,566**	**合計**	**7,554,566**

個別注記表

１．重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 有価証券の評価基準および評価方法
その他有価証券
時価のあるもの･･･決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により処理しております）
時価のないもの･･･総平均法による原価法
2. たな卸資産は個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により評価しております。
3. 固定資産の減価償却方法
(1) 有形固定資産（リース資産を除く）
定率法
(2) 無形固定資産（リース資産を除く）
定額法
(3) リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。
なお、リース取引開始日が2008年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス･リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。
4. 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務および年金資産の見込み額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。
また、役員退職慰労引当金は、役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。なお、当期末要支給額（44,464千円）は､退職給付引当金に含めて計上しております。
5. 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

２．貸借対照表に関する注記

1. 関係会社に対する短期金銭債権	1,037,781千円
2. 関係会社に対する短期金銭債務	14,396千円
3. 有形固定資産の減価償却累計額	207,416千円

３．税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、未払費用、未納事業税であります。また、繰延税金負債の発生の主な原因は、株式譲渡益であり、評価性引当金を控除しております。

４．１株当たり情報に関する注記

1. １株当たり純資産額	1,616,641円47銭
2. １株当たり当期純利益	92,762円32銭

５．重要な後発事象に関する注記

共通支配下の取引等

当社は、2020年1月28日開催の取締役会において、エーアイ・マシンテック株式会社と経営統合をすることを決議し、同年1月30日付で締結した合併契約書に基づき、2020年4月1日付でエーアイ・マシンテック株式会社と経営統合いたしました。

(1)企業結合の概要

①被結合企業の名称及びその事業内容

名　　称　エーアイ・マシンテック株式会社

事業内容　設備の設計・製作・修理・改造・ｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ

②企業結合日

2020年4月1日

③企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、エーアイ・マシンテック株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

変更ありません

⑤取引の目的を含む取引の概要

電動化技術の手の内化、既存A/T・M/Tの現有設備の更なる有効活用に向け、両社のノウハウとリソーセスを融合し、設備事業の更なる強化と共にマネジメントの効率化を図る為に経営統合する。

(2)実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成31年１月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成31年１月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理をしております。

当期純損益金額

当期純利益　　315,391千円